

11月

月間指導計画

1歳児



保育目標		保育士や友だちに関心を持ちながら、一緒に好きな遊びを楽しむ。 戸外で体を動かして遊び、落ち葉や木の実に親しみを持ち、自然に触れ合う。			
子どもの姿		友だちと同じことをして、一緒にやることにお互い喜んでいる。 身の回りのことが自分でできたことに喜び、自信を持って取り組もうとする。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	自分からおむつを脱いで排泄ができる。 鼻汁が出たことに気が付き、自分から拭き取ろうとする。	個々の排泄間隔やトイレに行きたいサインを理解し、排泄の成功体験から自信を育てる。 自分からティッシュで鼻汁を拭き取れるよう、子どもの手の届く場所にティッシュやゴミ箱を設置する。	「出ない」と行きたくない子もいる。 鼻汁に気が付き、保育士に伝える子や、自分からティッシュで拭き取ろうとする。	トイレに行きたくない気持ちを受け止め、「行きたくないから教えてね」など言葉をかけて様子を見る。 遊びの流れを止めないよう、見通しが立つような言葉をかける。
	情緒	保育士に気持ちを代弁してもらい、友だちとかわろうとする。	子どもの思いに共感し、保育士が代弁することで友だちの思いに気が付けるようにする。 代案を示したり先の見通しを伝え、気持ちを切り替えられるようにする。	思い通りにならず、手が出たり、噛み付きが起こることもある。	「いや」と言葉にできるよう、繰り返し伝え、相手に気持ちを伝えられるようにする。 手が出たり、噛み付くことも想定しておき、いつでも対応できるような位置で子どもの様子を見守る。
教育	健康	身の回りのことを自分から行い、できたことを喜ぶ。	自分でやりたい気持ちを大切に、保育士は見守り、必要な時に援助する。 ズボンとパンツを同時に脱ごうとして「かたい」と感じる子もいるので、1枚ずつ脱ぐように知らせる。	衣服の着脱を保育士に見守られながら、自信を持って自分から取り組もうとする。	着替える衣服の柄や絵などにこだわる子もいるので、保護者と連携して、子どもが自分で選べるように準備していただく。
	人間関係	友だちに関心を持ち、同じことをする喜びを知り、楽しもうとする。	一緒であることを好むので、同じ玩具を複数用意しておく。 「嬉しいね」「一緒だね」など、保育士が代弁し、気持ちを共有できるようにする。	友だちと同じことをして楽しみ、笑い合ったりして喜んでいる。	パズルなど集中して遊ぶ場所と、ままごとなど友だちとかわって遊ぶ場所などを分け、それぞれが落ち着いて過ごせるようにする。
	環境	園庭や散歩などに積極的に出かけ、体を動かして遊ぶ。 友だちと秋の自然を見つけ、共感し合う。	園庭やお散歩の行き先の安全点検を行う。 落ち葉や木の実を持ち帰るためのお散歩バックなどを用意しておく。	戸外で体を動かして遊び、「よーいどん！」など、友だちと一緒にできることに喜んでいる。 落ち葉や木の実などを拾い、大事そうに持ち帰り、友だちと見せ合っている。	散歩先で拾ってきた落ち葉や木の実を使って、手作り楽器などにし、秋の自然に親しみを持てるようにする。
	言語	自分から興味のあることを保育士や友だちに伝えようとする。	伝えたい気持ちを受け止め、二語分、三語文へと繋げられるよう、言葉を膨らませて語りかける。 気持ちを代弁して、お互いの思いを知ることが出来るようになる。	二語文を話す子もいる。 保育士に伝えたいことがあっても、はっきりとした言葉が出てこないこともある。	ごっこ遊びの中でやり取りをしながら、イメージが膨らむような言葉を意識する。 個々の興味関心に沿った遊びを提供し、遊びの中で発語を促せるようにする。
	表現	ちぎり絵に興味を持ち、指先を使った活動を楽しむ。	何度も楽しめるように、素材を多めに用意しておく。 雨の日などから新聞遊びを取り入れるなどして、ちぎる動作に慣れるようにする。	紙をちぎると形が変わる面白さに気が付き、何度もやってみようとする。	ちぎったものを糊で貼る場合は、手拭きを用意しておく。 糊が手につくのが苦手な子もいるので、綿棒などで糊を塗るなど、個々に合わせて柔軟に対応する。
食育		保育士や友だちとの会話を楽しみながら、明るい雰囲気の中、食事を楽しむ。	食材の名前を知らせたり、食事に関する絵本を読んだりして、食事に興味を持てるようにする。 苦手なものを食べている友だちを見て、自分も頑張ろうと思えるような言葉をかける。	苦手な食材があると食事がなかなか進まないが、保育士や友だちとの会話を楽しむことで、いつの間にか完食している。	どうしても食べられない場合は、「これを食べたら終わりにしようね」など言葉をかけ、先の見通しを立てられるようにする。
健康・安全		戸外から室内に入る時は、自分から手を洗い、清潔にすることを気持ちが良いと知る。 個々の自我を認め、気持ちが満たされるよう、小グループに分けたりコーナーを設置して、安全に活動ができるよう配慮する。			
保護者支援		着替えの衣服は多めに準備していただき、特定の柄や絵が好きな子もいる場合は、保護者の方と連携をし、好きな柄のものを多めに用意していただく。			